

チャペル週報

No.14

2013.7.8 ~ 7.19

青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。
苦しみの日々が来ないうちに。
「年を重ねることに喜びはない」と言う年齢にな
らないうちに。

(コヘレトの言葉12:1)



西宮聖和キャンパス ダッドレーメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

7月8日(月)	神	中 島 純 (神学研究科M2)
	経	舟 木 讓 (宗教主事)
	人	牧 里 毎 治 (人間福祉学部長)
	聖和	聖書物語「ダニエル、こわい夜をすごす」
7月9日(火)	院	樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
	神	Lutz Drescher (ドイツ宣教協会EMS アジア担当幹事)
	文	Andreas Rusterholz (宗教主事)
	社	世界市民として生きる⑧ 阿 部 潔 (社会学部教授)
	法	栗 林 輝 夫 (宗教主事)
	経	舟 木 讓 (宗教主事)
	商	東 よしみ (神学部助教)
	国	平 林 孝 裕 (宗教主事)
	聖和	今津屋 直 子 (教育学部教授)
	総	フラサークル mahalo
7月10日(水)	神	トーンチャイム隊による音楽礼拝
	社	世界市民として生きる⑨ 打 樋 啓 史 (宗教主事)
	法	English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
	経	English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
	商	山 本 俊 正 (宗教主事)
	国	平 林 孝 裕 (宗教主事)
	聖和	富 江 英 俊 (教育学部准教授)
	理	音楽チャペル ALL讃美歌プログラム(1)
	総	村 瀬 義 史 (宗教主事)
7月11日(木)	神	「震災を覚えて」礼拝⑬
	文	春学期終了チャペルパーティ
	社	学期末にあたって 萩 野 昌 弘 (社会学部長)
	法	栗 林 輝 夫 (宗教主事)
	経	田 淵 結 (教育学部宗教主事・宗教総主事)
	商	山 本 俊 正 (宗教主事)
	国	English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
	聖和	聖和ジャズ礼拝「竹中 真&吹奏楽部そしてみんなで」
	総	村 瀬 義 史 (宗教主事)
7月12日(金)	神	〈キリスト教音楽に触れよう③〉水 野 隆 一 (神学部教授)
	文	English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
	経	春学期終了を前に 利 光 強 (経済学部長)
	人	樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
	聖和	「国際協力～新たなる挑戦」ニノ宮 響 (人間福祉研究科M2) 伊藤 さつき (短大卒)
	理	音楽チャペル ALL讃美歌プログラム(2)
7月15日(月)	短大	聖書物語「神さまからの使い」
7月18日(木)	短大	「沈黙の祈り」田 淵 結 (教育学部宗教主事)
7月19日(金)	短大	「スーパーポジティブキャットの話」小 見 のぞみ (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
7月12日(金) 聖和短期大学のために 橘 実千代 (聖和短期大学准教授)

夏休みを前に

広 渡 純 子

『おじさんのかさ』（佐野洋子作）という絵本をご存じですか？冒頭部分を少し紹介しますと、「おじさんは、とっても りっぱなかさを もっていました。くろくて ほそくて、ぴかぴかひかった つえのようでした。おじさんは、でかけるときは いつも、かさをもって でかけました。すこしくらいのあめは、ぬれたまま あるきました。かさが ぬれるからです。もうすこしたくさん あめが ふると、あまやどりして、あめが やむまで まちました。かさが ぬれるからです。…」このように、「かさが ぬれるから」と人の傘に入れてもらったり、「かさが ぬれるから」雨の日は外出をやめるといったちょっと変わったおじさんが登場します。しかし、あることをきっかけに、「とうとう おじさんは、かさを ひらいてしまいました。」そしておじさんは、傘が濡れることで起こる思いがけない楽しさを味わいます。最後は「りっぱなかさは、りっぱにぬれていました。おじさんはうっとりしました。…」と終わります。

この絵本は、若い頃の私にあるメッセージをくれた絵本です。みなさんは、自分の中に使わずにしまっている「傘」はありませんか？自分では気づかずにしまったままの「傘」はありませんか？

いよいよ夏休みがやってきます。学生時代の夏休みは日常とは違う時間や空間を過ごすことのできる絶好の時です。そこではいつもとは違う人や出来事に出会うチャンスがあります。そしてそれは「自分の知らなかった自分」に出会うチャンスでもあります。思い切っていつもとは違う場所へ出かけていきましょう。できれば一人で。なにも外国に旅行に行くことだけではありません。いつもの居場所を離れて、たとえば普段はあまり関わることのない高齢者や子どもたちのところへ行ってみるなど、いつもとは違う場所で違う時間を過ごしてみましょ。神さまが創られたこの世界は、多様な豊かさに満ちた世界です。私たちはまだ、その豊かさ（自分を含む）のほんの一部しか知らないのではないのでしょうか。この夏休み、「傘を開き、傘が濡れる」ことでこそ出会える豊かさや喜びを、ぜひ体験してほしいと願います。

（聖和短期大学学長）

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00~18:20 1405 教室)

7 月 12 日(金) Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)

7 月 19 日(金) 樋口 進 (宗教センター宗教主事)

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち 45 人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10 月 5 日(土) 10 時~16 時

ところ：ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

指導者：太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催：宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10 月 22 日(火)

11 月 19 日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂 (上ヶ原) にて 10:35~11:05

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関する CD や DVD を備えています。本学学生及び教職員 (学生証または身分証明書必要) であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS) 切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のチャペルスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は 9 月 20 日(金) からです。よい夏休みを！